

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成23年9月15日(2011.9.15)

【公開番号】特開2011-103304(P2011-103304A)

【公開日】平成23年5月26日(2011.5.26)

【年通号数】公開・登録公報2011-021

【出願番号】特願2011-72(P2011-72)

【国際特許分類】

H 01 M 8/02 (2006.01)

H 01 M 8/12 (2006.01)

【F I】

H 01 M 8/02 K

H 01 M 8/12

H 01 M 8/02 E

【手続補正書】

【提出日】平成23年7月27日(2011.7.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

酸化剤貯槽と、燃料貯槽と、該酸化剤貯槽と燃料貯槽の間に介在する電解質とを含み、前記電解質が非平面で、可撓性で、滑らかな曲面を有し、非円柱状であり、前記電解質のシートが、少なくとも1つの陰極と少なくとも1つの陽極とに接触しており、前記燃料貯槽が前記陽極に燃料を供給し、前記酸化剤貯槽が前記陰極に酸化剤を供給することを特徴とする固体電解質燃料電池。

【請求項2】

前記燃料電池が、尖ったエッジを有さないマニホールド管をさらに含み、反復式および間欠式のオン・オフ使用において、1時間以下で室温から1000の作動温度まで少なくとも100回の熱サイクルに耐えることができる熱衝撃抵抗性を備える形状を有することを特徴とする請求項1記載の固体電解質燃料電池。

【請求項3】

前記電解質が1時間以下で室温から1000の作動温度まで4000回の熱サイクルに耐えることができる特徴とする請求項2記載の固体電解質燃料電池。

【請求項4】

前記固体電解質が可撓性または柔軟性の集電器を有することを特徴とする請求項2記載の固体電解質燃料電池。

【請求項5】

請求項1ないし4の中のいずれか1項記載の燃料電池を組み込んだ装置。

【請求項6】

可動車を構成する請求項5記載の装置。

【請求項7】

前記可動車が機関車、自動車、船舶、トラック、建設車両、軍用車両および飛行機よりなる群から選ばれたことを特徴とする請求項6記載の装置。